

議会報告・ののうち誠後援会だより

vol.8

ののうち誠



2期目も全力で頑張ります

4月14日(日)に告示され、4月21日(日)に投票された「松江市議会議員選挙」。34人の定員に対し42人が立候補(内12人が新人)、8人オーバーという大変な激戦となりましたが、17位で当選をさせていただきました。

この度の選挙で、改めて松江市の広さを実感した7日間でした。市内全部は回りきれず、行けなかった地域の皆さん、申し訳ありませんでした。幹線沿いだけ回っても時間が足りませんでした。

初めての場所で、お会いしたことがない方々が家から飛んで出て手を振ってくださり、演説を熱心に聞いてくださった方々もありました。

1期は平成23年8月の松江市と東出雲町の合併の際の、松江市議会議員増員選挙で当選させていただいてからでしたから、1年8ヶ月の任期しかありませんでした。

野々内にはしなければならないことが沢山あります。松江市全体の振興策や改善の提案はもちろんですが、ものづくり産業の振興発展や揖屋馬潟線などの道路整備、子育て支援、高齢者福祉など、いただいた4年間で一つでも実現するよう努力してまいります。

早速、2期目の議員活動を始めました。教育民生委員会と議会広報等特別委員会では、教育委員会や民生部門、広報担当の行政経験を活かして、松江市行政の発展・充実のため頑張っていきます。総合交通対策特別委員会では、コミュニティ交通などの調査・研究を通して市民の足の充実を提案していきます。野々内は、これからも市民の皆様からのご意見や要望に耳を傾けてまいります。お気軽にお声をかけてください。

6月松江市議会

6月松江市議会は、6月19日から7月5日までの会期で開催されました。予算関係では、平成25年度補正予算・一般会計予算6億3,900万円で、市長改選後初めての予算として公約を基にした施政方針を展開する予算となりました。条例等の議案では、子ども・子育て会議条例や、ものづくり振興会議条例、環境創造・子ども未来基金条例の制定など、全39議案を原案どおり可決しました。また、ホテル・旅館など建築物の耐震化の促進を求める意見書と、過労死防止基本法の制定を求める意見書をいずれも全会一致で可決しました。ただし、環太平洋連携協定(TPP)の交渉参加撤回を求める意見書は、市議会として既にTPP交渉参加に反対する議決を行っており賛成少数で否決されました。(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

一般質問を行いました



◀ 周辺地域の活性化も課題です

松江市議会は1年間の質問時間が10分増え80分になりました。野々内は、6月定例市議会でも2期目始めて、連続7回目の一般質問を行いました。(一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています)

Q1 松浦市政における今後4年間の行政姿勢について

(1) 人口減少時代における中心市街地の人口増の取り組みと郊外地でのまちづくりについて

人口減が進む中、中心市街地はこの4年間で人口増にどのような考えで取り組むのか、具体的な考えをお示しく下さい。

一方、周辺地域は、人口減がさらに顕著で、地域の衰退や生活の質の低下などの危惧がされています。周辺地域には多くの市民の生活があり、希望も必要です。この地域振興への考えをお尋ねします。

(A) 松浦市長：大まかに、いわゆる拠点連携型の都市構造に持っていきたいのが結論です。中心部は勿論ですが、その周辺部もその拠点を形成しながら、その周辺部の拠点と中心部の拠点とが交通機関等々で連携をさせていく考え方でこれからのまちづくりをやっていきたいと思っています。

(2) 合併の際のまちづくり計画の実現について

旧八束郡7町との合併から8年が経過し、また、まもなく東出雲町も松江市との合併から2年を迎えます。合併時策定の「まちづくり計画」を今後任期4年間にどの程度実現する考えですか。

(A) 松浦市長：融合一体化を図る視点でプロジェクトをつくり取り組んできました。今後ままちづくり計画に掲載の事業の進捗状況を再度点検して、必要に応じた見直しを図って順次実施をしたいと思っています。

東出雲町の場合も、ものづくり産業の振興、特産品の育成、観光施設の連携も考えられています。他地域と同様に、ままちづくり計画の着実な実施により地域振興を図っていきたいと思っています。

Q2、新教育長に問う

(1) 学校図書館活用教育の今後について

子どもたちの豊かな心を育む学校図書館活用教育を、福島前教育長は東出雲町での先駆的取り組みを全市に波及するよう努力されましたが、学校図書館活用教育はどのようにお考えですか。

(A) 清水教育長：図書館活用教育は大きな役割を担っていると思っています。読書や調べることが楽しい、それを通じて学ぶことが嬉しいと児童が思い、またそういう児童を育成していくことが必要で、今後ともさらに充実を図りたいと考えています。

(2) 屋外運動場の芝生化事業について
屋外運動場の芝生化はメリットとデメリットがあります。さらに世話人の確保など課題もあります。市内の学校の現状と、今後どう考えていきますか。

(A) 清水教育長：芝生化の現状は、今年度で小学校34校中22校の植栽が完了。引き続き、地域の皆さんや学校との協議が整ったところから芝生化を進めていきます。

Q3、子育て支援について

(1) 認可保育所入所の待機児童対策について
認可保育園4月入所の対策事業の状況についてお尋ねをいたします。

(A) 田中健康福祉部長：松江市の待機児童数は、今年4月1日時点では0人となりました。施設整備費用の一部支援で、平成21年度からの4年間に1,029人の定員増で、保育所定員数は6,384人となりました。

(2) 保育所途中入所の待機児童対策について





◀子どもの元気は地域の元気です

育児休業明けの途中入園ができないとの相談を受けました。そこで、年度中途の入園を容易にするため、保育士増員の助成制度を充実する考えはありませんか。

(A) 田中健康福祉部長：年度中途の待機児童対策の最大の課題は保育士不足であり、財政的な支援制度を整備するとともに、県と連携しながら保育士の就業継続支援や潜在保育士の再就職支援を実施して保育士確保に努めたいと考えています。

(3) 急病入院による休園に保育料の減免を私が受けた相談から、児童が急病で数ヶ月の療養が必要になりました。保育料を払えば在園が認められますが、保育料に減免制度がありません。長期療養が必要な場合、市が助成をするなどの減免制度を創設する考えはありませんか。

(A) 田中健康福祉部長：一時退所し再び同一の保育所へ入所希望された場合、特別な事情がある場合は、優先度を上げて審査ができるように、新年度に向け検討します。

(4) ファミリーサポート事業の最低利用時間を30分にする考えはないか
東出雲町の先例から最初の最低利用時間を30分にし、料金も半額にしてほしいとの声を聞きます。
(A) 田中健康福祉部長：昨年度の利用総数は2,344件で、そのうち30分以内の利用数は17.9%。利用者のニーズを踏まえ

ビスの向上を図るため、早急に最低利用時間を30分に設定します。

Q4、新教育長に問う

(1) 公衆無線LANの整備について

市内の駅や公共施設などで使える無料の公衆無線LAN、Wi-Fiスポットは何箇所ありますか。また、通信インフラの充実のため調査費の補正予算によって、拡充整備はどのように進めますか。

(A) 星野政策部長：現在、市内の公共施設で無料の公衆無線LANやWi-Fiが利用できる箇所は、9か所です。公衆無線LANの整備については、まちあるき観光の推進とRubyストリートの実現を目的に市内中心部で整備を行い、エリアの拡充を図りたいと考えています。

Q5、高齢者福祉について

(1) 介護予防の充実について

超高齢社会に突入し、高齢者数は増加の一途です。治療より予防で、元気高齢者を増やす取り組みを一層進めるべきです。そのためには、現在の制度以上に日常的な介護予防事業



▼元気高齢者を増やす取り組みを

に取り組むべきです。

(A) 田中健康福祉部長：限られた財源の中、現在の地域支援事業を有効に活用し、より参加しやすい環境づくりを行うとともに、事業内容の充実を図り、特色ある松江らしい介護予防事業を更に拡充をしたと考えています。

9月議会・決算特別委員会等予定

9月

- 4日(水) 本会議
- 9日(月) 一般質問
- 10日(火) 一般質問
- 11日(水) 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 12日(木) 総務委員会、教育民生委員会
- 13日(金) 経済委員会、建設環境委員会
- 19日(木) 本会議(委員長報告、討論・採決提案説明・決算特別委員会設置・委員会付託)閉会
- 19日(木) 決算特別委員会(正副委員長互選)

10月

- 1日(火) 決算特別委員会(質疑、分科会設置・委託) 総務分科会、教育民生分科会
- 2日(水) 総務分科会、教育民生分科会
- 3日(木) 経済分科会、建設環境分科会
- 4日(木) 経済分科会、建設環境分科会
- 8日(火) 決算特別委員会(分科会長報告、採決)
- 10日(木) 臨時議会(決算)

活動報告 最近の活動から

臨時議会が開催、野々内は教育民生委員長に

5月16日、改選後初となる市議会臨時議会が開催され、野々内の議席は新人7人の次の8番となりました。また、各委員会の開催を経て正副委員長の互選結

果が報告されました。このうち野々内は、教育民生委員会委員長、議会広報等特別委員会委員長、総合交通対策特別委員会委員に選任されました。

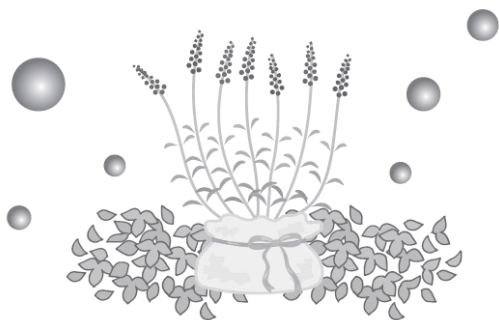
本格的に委員会活動

6月28日に松江市議会教育民生委員会が開かれましたが、野々内にとっては委員長としての初審議でした。委員は総勢8人、執行部からは、市立病院、教育委員会、健康福祉部のおよそ全管理職、担当職員、議会事務局職員が出席しました。

委員会審議の一口メモ。まず、提案された議案を所管の委員会に付託することが本議会で決定されます。それに従って委員会が開催され、審議を経てその結果が本議会で委員長報告という形でされ、その報告を全体で決定していくという順序で行なわれます。

この日の教育民生委員会の議案は6月議会に上

程された議案のうち所管の、松江市子ども・子育て会議条例の制定など条例案件3件、仮称城西幼保園建設工事の請負契約締結、損害賠償の額を定めること、プラバホールの指定管理者の指定のほか、一般会計や病院事業会計、介護保険事業特別会計の予算案件4件を審議し、全て原案通り可決すべきものと決しました。



ののうち誠 後援会です

ののうち誠講演会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.8を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

◆後援会事務局◆
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX/0852-52-3117

E-mail: nonouchi@mable.ne.jp
HP: http://www.mable.ne.jp/ nonouchi



ホームページを開設しています。
ブログもやっています。
お気軽にケイタイからご覧いただけます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年11月26日生まれ、62歳。
母と長男夫婦と同居（妻とは死別）長女は結婚し独立
住所／松江市東出雲町出雲郷1670
電話／0852-52-3117（FAX兼用）

【学 歴】

昭和44年3月／島根県立松江農林高等学校卒業

【職 歴】

昭和44年4月～平成23年3月／東出雲町職員（企画財政課長、保健福祉課長、教育委員会教育次長、総務課長、参事）
平成25年4月／松江市議会議員選挙2期目当選

【活動歴】

出雲郷公民館主事（11年間）、出雲郷公民館運営委員、体育協会出雲郷支部事務局、消防団第三分団部長、出雲郷小学校PTA会長（3年間）、PTA連絡協議会会長、松江市農業委員、体育協会出雲郷副支部長